

- 問1 承久の乱において、敗れた後鳥羽上皇に対する処置と、その後の政治状況について述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 後鳥羽上皇は佐渡に流され、幕府は天皇を中心とする政治を認める代わりに、全国の税を徴収する権利を得た。 | 2. 後鳥羽上皇は土佐に流され、幕府は新たに「御成敗式目」を制定して朝廷と公家を守るべき法を定めた。 | 3. 後鳥羽上皇は隠岐に流され、幕府は朝廷の監視を強めるとともに、上皇側に味方した貴族や武士の所領を没収した。 | 4. 後鳥羽上皇は伊豆に流され、幕府は朝廷の力を完全に取り上げるために、京都に將軍の代理として鎌倉公方を置いた。 |
|---|--|---|--|
- 問2 北条泰時が1232年に御成敗式目を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸幕府の成立に伴い、全国の諸大名が勝手に城を補修したり婚姻を結んだりすることを禁止するため。 | 2. 承久の乱のあとに増加した所領をめぐる争いを、武士の慣習に基づいて公平に裁く基準を示すため。 | 3. キリスト教の布教を制限し、貿易を幕府の管理下に置くことで幕府の財政基盤を固めるため。 | 4. 律令に基づいた政治を再興し、貴族や寺社が持つ土地を幕府が直接管理する仕組みを整えるため。 |
|--|--|---|---|
- 問3 一二三二年に制定された御成敗式目の目的や性質に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 地頭などの御家人による土地争いを公平に裁く基準を定め、幕府の統治を安定させる。 | 2. 北条時宗が二度の元寇に際し、九州の防備を固めるために武士の動員体制を法制化する。 | 3. 鎌倉時代初期の源頼朝が、朝廷から征夷大將軍に任命されるための条件を明文化する。 | 4. 有力な家臣の合議制を廃止し、執権がすべての実権を握る独裁的な政治体制を確立する。 |
|--|---|--|---|
- 問4 中世の仏教の特色についてまとめられた解説文において、新しい仏教は「修行方法が簡素であったため、人々の心をとらえていった」と記されています。この「修行方法」の内容として、当時の民衆に受け入れられた具体的な姿を説明したものを選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|--|
| 1. 「南無阿弥陀仏」や「南無妙法蓮華経」と唱えたり、ひたすら座禅を組んだりする修行。 | 2. 山にこもり、数年間にわたって断食や読経を繰り返す学問中心の修行。 | 3. 都市部に大規模な寺院を建立し、そこでのみ行われる複雑な儀式に参加する修行。 | 4. 海外へ渡航し、数十年かけて新しい経典を日本に持ち帰ることを目的とした修行。 |
|---|-------------------------------------|--|--|
- 問5 鎌倉時代に起こった出来事のうち、その時期が最も遅い（新しい）ものを、当時の国際情勢や国内の法整備の流れを踏まえて選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. モンゴル帝国のフビライ・ハンによる服属要求を拒否したことによる元寇 | 2. 北条泰時が裁判の基準を明確にするために定めた御成敗式目 | 3. 後鳥羽上皇が隠岐へ流される原因となった承久の乱 | 4. 白河上皇が天皇の位を譲ったあとも政治の実権を握った院政の開始 |
|--------------------------------------|--------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
- 問6 鎌倉時代後半に起きた「元寇」をめぐる歴史的背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 北条時宗は元軍を退けた後、恩賞として博多湾沿いの石の防塁周辺の土地を、手柄を立てた御家人たちに分け与えた。 | 2. 八代執権の北条時宗は、フビライ・ハンからの臣下になる要求を拒否し、九州北部の防備を固めて元軍を迎え撃った。 | 3. 元軍の再来襲に備えて築かれた石の防塁は、九州沿岸だけでなく、鎌倉の海岸線一帯にも同様の規模で築かれた。 | 4. 元寇による防衛指揮を通じて執権の権力は一時的に衰退し、足利尊氏による新しい武家政治が始まる直接のきっかけとなった。 |
|--|--|--|--|
- 問7 13世紀の歴史的な出来事を整理した年表において、鎌倉幕府の成立から承久の乱を経て、武士による政治（武家政治）が確立されていく過程を示す具体的な出来事として最も適切なものはどれか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 足利義満が明との間で勘合貿易を始め、経済的な基盤を固めた。 | 2. 聖徳太子が冠位十二階を定め、才能ある人材を役人に登用した。 | 3. 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。 | 4. 徳川家康が江戸幕府を開き、武家諸法度を制定して大名を統制した。 |
|----------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|
- 問8 13世紀、チングス・ハンの孫であるフビライ・ハンが、モンゴル帝国の本拠地を中国に移して定めた国号を選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 元 | 2. 清 | 3. 明 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|
- 問9 御成敗式目（貞永式目）の歴史的な意義や性質について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 源頼朝の時代から続く武家社会の慣習を明文化した、最初の武家法である。 | 2. 江戸幕府が制定した、大名を統制するための基本的な法典である。 | 3. 聖徳太子が制定した、役人の心得を示すための道徳的な教えである。 | 4. 明治政府が制定した、国民の権利と義務を定めた日本最初の憲法である。 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問10 鎌倉時代に北条泰時によって制定された「御成敗式目（貞永式目）」について、その性質を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 朝廷が定めた律令や公家法に代わって、全国の庶民に適用された法律である | 2. 明治政府が近代国家を目指して、ヨーロッパの法律を参考に作成した法律である | 3. 源頼朝の時代からの先例や武士の慣習をまとめ、裁判の基準を示した法律である | 4. 戦国大名が自らの領国を支配するために、独自に定めた分国法の一つである |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問11 平安時代末期、本州の西端（現在の山口県下関市付近）を舞台に行われた戦いで、平氏一族を滅ぼした武將は誰ですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 明智光秀 | 2. 足利義政 | 3. 藤原純友 | 4. 源義経 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問12 13世紀、飢饉や地震が相次ぎ社会不安が広がった時期に、栄西や道元によって日本に伝えられた禅宗が、当時の武士に広く受け入れられた理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 加持祈祷によって現世での利益や災難を逃れることを第一とする教えが広まったため | 2. 念仏を唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、武士の共感を得たため | 3. 座禅による厳しい修行を通じて精神を鍛えるという教えが、武士の気風に合致したため | 4. 朝廷や公家との結びつきが強く、伝統的な儀式を重んじる作法が武士の憧れとなったため |
|---|---|--|---|
- 問13 ある法令には「領地の質入れや売買は御家人の生活が苦しくなる原因なので禁止する」「御家人以外の者が御家人から買った土地は、元の持ち主に無償で返さなければならない」といった内容が記されている。この法令が出されたことによる結果として、最も適切な事態はどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|--|
| 1. 荘園領主と地頭の争いが解決し、下地中分による土地の分割が進んだ。 | 2. 御家人の借金がすべてなくなり、幕府への信頼が高まって支配体制が安定した。 | 3. 御家人による土地の売買が自由化され、貨幣経済が急速に発展した。 | 4. 金貸し業者がお金を貸さなくなり、御家人はかえって資金繰りに苦しむようになった。 |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 後鳥羽上皇は隠岐に流され、幕府は朝廷の監視を強めるとともに、上皇側に味方した貴族や武士の所領を没収した。	乱の結果、後鳥羽上皇は島根県の隠岐島に流刑となりました。幕府は上皇側に加担した貴族や武士の領地3000か所余りを没収し、手柄を立てた御家人を新たに地頭（新補地頭）として任命しました。これにより、それまで朝廷の影響力が強かった西日本においても、幕府の支配が急速に浸透することとなりました。
問2	答え 2 承久の乱のあとに増加した所領をめぐる争いを、武士の慣習に基づいて公平に裁く基準を示すため。	北条泰時は、北条氏が幕府の実権を握る中で、武士（御家人）たちの信頼を得るために公平な裁判を行う必要がありました。それまでは公家の法律である律令が一部使われていましたが、武士には馴染みが薄かったため、頼朝以来の慣習を明文化した御成敗式目を作り、武家政治の拠り所としました。
問3	答え 1 地頭などの御家人による土地争いを公平に裁く基準を定め、幕府の統治を安定させる。	御成敗式目は、執権政治を確立させた北条泰時が、武士の間に広がっていた土地をめぐる争いを解決するために作成したものです。これにより、幕府の裁判が明確な法に基づいたものになり、御家人からの信頼を高めることにつながりました。この法律はあくまで幕府の支配下にある武士や土地に適用されるもので、当初は朝廷の支配地には適用されませんでした。のちの武家政治における法の基本（よりどころ）となりました。
問4	答え 1 「南無阿弥陀仏」や「南無妙法蓮華経」と唱えたり、ひたすら座禅を組んだりする修行。	浄土宗や浄土真宗の「念仏」、日蓮宗の「題目」、禅宗（臨済宗・曹洞宗）の「座禅」のように、鎌倉新仏教は一つの動作に絞ったわかりやすい修行を提示しました。このような「信仰のしやすさ」が、戦乱や飢饉で不安を抱えていた民衆や、新しい支配層となった武士のニーズに合致しました。
問5	答え 1 モンゴル帝国のフビライ・ハンによる服属要求を拒否したことによる元寇	鎌倉時代の政治的な流れは、1221年の承久の乱、1232年の御成敗式目制定、そして13世紀後半（1274年・1281年）の元寇という順序になります。白河上皇による院政は平安時代末期の出来事であり、鎌倉時代の出来事ではありません。元寇はモンゴル帝国（元）のフビライ・ハンによる大規模な侵攻であり、この中では最も新しい時期の出来事です。
問6	答え 2 八代執権の北条時宗は、フビライ・ハンからの臣下になる要求を拒否し、九州北部の防備を固めて元軍を迎え撃った。	モンゴル帝国のフビライ・ハンは、日本に対して服属を求める使節を何度も送りましたが、鎌倉幕府の八代執権であった北条時宗はこれを拒否する姿勢を貫きました。時宗は、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防塁を築かせるなど、緊迫した状況下で九州北部の防衛拠点を強化しました。元寇の防衛に成功したものの、この戦争は防衛戦であったため幕府が得た新たな領土はなく、御家人に十分な恩賞を与えられなかったことが、その後の鎌倉幕府衰退の要因の一つとなりました。
問7	答え 3 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。	承久の乱を経て幕府の権力が全国へ広がる中、武士同士の領地争いを公平に裁く必要性が高まりました。北条泰時が制定した御成敗式目は、武家社会の慣習を成文化した初めての法律であり、武家政治を法的な側面から支える重要な役割を果たしました。
問8	答え 1 元	モンゴル帝国は13世紀にユーラシア大陸の広大な範囲を支配しました。第5代皇帝のフビライ・ハンは、都を現在の大都（北京）に移し、中国式の国号である「元」を採用しました。この時期の日本では鎌倉幕府が続いており、北条時宗が執権として政治を行っていました。
問9	答え 1 源頼朝の時代から続く武家社会の慣習を明文化した、最初の武家法である。	御成敗式目は、源頼朝以来の先例や、武士の間で重んじられてきた「道理」に基づいています。それまでの律令（公家法）は漢字ばかりで武士には難解でしたが、この式目は武士にも理解しやすい言葉で書かれ、後の室町幕府の法律や戦国大名の分国法にも大きな影響を与えました。
問10	答え 3 源頼朝の時代からの先例や武士の慣習をまとめ、裁判の基準を示した法律である	御成敗式目は、それまでの公家法が武士の実態に合わなくなっていたことを背景に、武家社会の道徳や慣習を成文化したものです。この法律は主に幕府の支配下にある御家人などを対象としていましたが、その内容は非常に合理的であったため、後の時代の武家法（建武式目や武家諸法度など）にも大きな影響を与えました。
問11	答え 4 源義経	源頼朝の弟である源義経は、軍事的な才能を発揮して源平の合戦で活躍しました。1185年、本州の西端に位置する壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、源氏の勝利を決定づけました。この勝利により、兄の頼朝による鎌倉幕府の成立が確実なものとなりました。
問12	答え 3 座禅による厳しい修行を通じて精神を鍛えるという教えが、武士の気風に合致したため	鎌倉時代、自らの武力で領地を守り、常に死と隣り合わせの生活を送っていた武士にとって、自分の力で悟りを開こうとする禅宗の厳しい修行は、彼らの精神的な支えとなりました。特に、栄西が伝えた臨済宗は鎌倉幕府の保護を受け、政治の拠点である鎌倉を中心に多くの寺院が建てられました。
問13	答え 4 金貸し業者がお金を貸さなくなり、御家人はかえって資金繰りに苦しむようになった。	徳政令（永仁の徳政令）によって借金が帳消しにされたことで、貸し手である金融業者は損害を恐れて御家人にお金を貸さなくなりました。その結果、一時的に借金は消えても新たな資金調達ができなくなり、御家人の困窮はさらに深まり、幕府への不満が高まる原因となりました。